

課題整理総括表

利用者名		A				殿						
自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)		①脳梗塞再発 ④右半身不全麻痺				②脳血管性認知症 ⑤物忘れ、会話がかみ合わない			③誤嚥性肺炎 ⑥夫主介護者関節リウマチ			
状況の事実 ※1		現在 ※2				要因※3	改善/維持の可能性※4			備考(状況・支援内容等)		
移動	室内移動	自立	見守り	一部介助	全介助	① ④	改善	維持	悪化	・寝返り・起き上がり・端座位は見守り又は は支えが必要		
	屋外移動	自立	見守り	一部介助	全介助	① ④	改善	維持	悪化	・リハビリで右短下肢装具と歩行器により 見守り歩行		
食事	食事内容	支障なし 支障あり				①②③④	改善	維持	悪化	・玄関前の段差や玄関の上がり框は一 部介助で可能だが不安定、ソファからの 立ち上がりはつかまれば出来る		
	食事摂取	自立	見守り	一部介助	全介助	①②③④	改善	維持	悪化	・自宅内の移動は周囲につかまりながら 可能。見守りあり		
	調理	自立	見守り	一部介助	全介助	①②④⑥	改善	維持	悪化	・浴槽またぎは困難、立ち上がりも困難、 更衣介助必要		
排泄	排尿・排便	支障なし 支障あり				①②④	改善	維持	悪化	・食事摂取は左手でできるが、利き手は 右手、時々ムセあり		
	排泄動作	自立	見守り	一部介助	全介助	①②④⑥	改善	維持	悪化	・主食は全粥、副食は一口大、水分はと ろみを薄くつける		
口腔	口腔衛生	支障なし 支障あり				①②④	改善	維持	悪化	・失禁を気にして水分を取らない傾向が あり、促し必要		
	口腔ケア	自立	見守り	一部介助	全介助	①②④	改善	維持	悪化	・尿便意はあるが、まれに間に合わず失 禁あり、便秘傾向で下剤を屯用で内服		
服薬		自立	見守り	一部介助	全介助	①②④⑤	改善	維持	悪化	・日中は車いすですぐトイレへ誘導、介助あ り、夜間はポータブルトイレで対応		
入浴		自立	見守り	一部介助	全介助	①②④⑥	改善	維持	悪化	・ズボンの上げ下げに介助あり		
更衣		自立	見守り	一部介助	全介助	①②④⑥	改善	維持	悪化	・自歯、麻痺側に食物残渣あり声掛け確 認必要		
掃除		自立	見守り	一部介助	全介助	①②④⑥	改善	維持	悪化	・洗面は椅子座位で自力で可能		
洗濯		自立	見守り	一部介助	全介助	①②④⑥	改善	維持	悪化	・軽度難聴あるが、日常会話ではほぼ 支障はない		
整理・物品の管理		自立	見守り	一部介助	全介助	①②④⑥	改善	維持	悪化	・前日のことを忘れていたり、家族に同じ ことを繰り返し話すことがある		
金銭管理		自立	見守り	一部介助	全介助	①②⑤	改善	維持	悪化	・会話内容の行き違いがある		
買物		自立	見守り	一部介助	全介助	①②④⑤⑥	改善	維持	悪化	・内服を忘れる事があり、都度手渡し内 服確認が必要		
コミュニケーション能力		支障なし 支障あり				①②⑤	改善	維持	悪化	・入院前は金銭・通帳管理を本人が行 なっていたが、入院中は夫が行なっ ている。		
認知		支障なし 支障あり				①②⑤	改善	維持	悪化	・入院中、少額は手持ちあるが使わな い。		
社会との関わり		支障なし 支障あり				①②④⑤	改善	維持	悪化	・入院前、買い物は夫や娘たちと出掛け ていた。		
褥瘡・皮膚の問題		支障なし	支障あり			①④	改善	維持	悪化	・入院前は、調理・洗濯・掃除は本人が 行っていた		
行動・心理症状(BPSD)		支障なし 支障あり				①②④⑤	改善	維持	悪化	・自宅内居住スペースに手すりなし		
介護力(家族関係含む)		支障なし 支障あり				②④⑤⑥	改善	維持	悪化	・主介護者である夫は関節リウマチがあ る		
居住環境		支障なし 支障あり				②④⑥	改善	維持	悪化			
							改善	維持	悪化			

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。

※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。

※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。

※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

作成日

利用者及び家族の 生活に対する意向		
見 通 し ※5	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)【案】	※6

※5 「要因」および「改善・維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによって見込まれる事後の状況(目標)を記載する。

※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「－」印を記入。